

水戸協同病院臨床研修ガイド



茨城県厚生連総合病院水戸協同病院
研修管理委員会
2020. 3. 27
2021. 2. 9 改訂
2022. 2. 8 改訂

目次

1. 研修スケジュール概略
2. 研修修了の要件
3. シミュレーションルーム利用の手引き
4. 臨床研修に関する各種院内規定
 - 1) 医師臨床研修規定
 - 2) 指導体制の規定
 - 3) 研修医の規定
 - 4) 当直に関する規定
 - 5) 各研修に関する規定
 - 6) 同門会規約
 - 7) 研修管理委員会規定
 - 8) 臨床研修管理委員会規定
5. 総合病院水戸協同病院 病院群
6. レポートフォーマット・作成例

1. 水戸協同病院研修スケジュール概略

二年間のスケジュール

1年目：入職前オリエンテーション	3月末
闘魂外来	3月末
入職時オリエンテーション	4月1日
EPOC 説明会	4月末
e-learning 講習	4月～5月末までに必修
医療安全講習	4月末
感染対策講習	5月末
オンライン説明会	随時
第1回レジデントデー	6月頭
マッチング	8月 3回
2年次のローテーション説明会	8月末
ローテーション希望アンケート開始	8月末
第2回レジデントデー	9月頭
第3回レジデントデー	12月頭
JAMEP 試験	1月末
オンライン説明会	随時
2年目ローテーションの決定	3月頭
第4回レジデントデー	3月頭
研修管理委員会でのあいさつ	3月第二火曜
入職前オリエンテーションの企画	3月末
専門医研修総合内科プログラム説明会	3月
2年目：医療安全講習	4月末
感染対策講習	5月末
第1回レジデントデー	6月頭
第2回レジデントデー	9月頭
第3回レジデントデー	12月頭
レポート締め切り	1月頭
研修修了判定予備会議	1月頭
JAMEP 試験	1月末
研修修了判定本会議	3月頭
第4回レジデントデー（プログラム評価）	3月頭
研修修了式	3月末
アンケート記載	3月末

2. 水戸協同病院研修修了の要件

① 経験すべき症候・疾病・病態をすべて経験し、病歴要約（病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン、考察）を作成し、指導医からの承認を得る

1) 経験すべき症候・疾病・病態

当院では研修医手帳として EPOC 2 を利用しています。

【EPOC2 症例登録の流れ】

- ・研修医はサマリ記入後症例登録を行う
症候の重複は 2 例まで可とする（症候と疾患の重複も可能）が、極力重複しないようにする
- ・EPOC 2 で症例登録を行って、各研修期間の担当指導医へ承認依頼をする
- ・研修事務担当はデータと照合して指導医へ
- ・研修事務担当はサマリをファイリング

EPOC2 説明会を開催いたしますので、その他の運用も含めて説明いたします。

必ず参加をお願いいたします。

【経験すべき症候・疾病・病態一覧】

経験すべき症候			経験すべき疾病・病態				
1	ショック	16	下血・血便	1	脳梗塞・脳出血	14	消化性潰瘍
2	体重減少・るい瘦	17	嘔気・嘔吐	2	脳動脈瘤・くも膜下出血	15	肝炎・肝硬変
3	発疹	18	腹痛	3	認知症	16	胆石症
4	黄疸	19	便通異常（下痢・便秘）	4	心筋梗塞	17	大腸癌
5	発熱	20	熱傷・外傷	5	心不全	18	腎盂腎炎
6	もの忘れ	21	腰・背部痛	6	大動脈瘤	19	尿路結石
7	頭痛	22	関節痛	7	高血圧	20	腎不全
8	めまい	23	運動麻痺・筋力低下	8	肺癌	21	高エネルギー外傷・骨折・捻挫
9	意識障害・失神	24	排尿障害（尿失禁・排尿困難）	9	肺炎	22	糖尿病
10	けいれん発作	25	興奮・せん妄	10	急性上気道炎	23	脂質異常症
11	視力障害	26	抑うつ	11	気管支喘息	24	気分障害
12	胸痛	27	妊娠・出産	12	COPD	25	統合失調症
13	心停止	28	成長・発達の障害	13	胃癌	26	依存症（ニコチン依存症・アルコール依存症・薬物依存症・病的賭博を含む）
14	呼吸困難	29	終末期の症候				
15	吐血・喀血						

【2年目の選択科目について】

選択科目の希望は研修 1 年目の 8 月頃に調査する予定です。原則、自由選択ですが、各科の受入定員を超過する場合や受入態勢の変更により希望に沿えない場合があります。詳細は臨床研修管理委員会からの通知に記載いたします。

調整後のローテーション変更については、院外研修の変更を伴うものは不可となります。

院内の調整（受け入れ人数、関係科の了承）だけの場合は可とします。その場合は 3 か月以上前までにプログラム責任者に相談の上、変更希望者が自ら調整し、結果をプログラム責任者に報告してください。プログラム責任者が 2 か月より前の臨床研修管理委員会で提議し、承認を経て 2 か月前に院内周知徹底されることとなります。

2) 病歴要約 (病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン、考察)

レポートを提出する

診断、検査、治療方針について例 (添付) を参考にフォーマットにて症例レポートを2年目の12月末日までに提出すること。

1. 脳・脊髄血管障害 (脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血)
2. 心不全
3. 高血圧症 (本態性、二次性高血圧症)
4. 呼吸器感染症 (急性上気道炎、気管支炎、肺炎)
5. 食道・胃・十二指腸疾患 (食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎)
6. 腎不全 (急性・慢性腎不全、透析)
7. 糖代謝異常 (糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)
8. 認知症 (血管性認知症を含む。)
9. 気分障害 (うつ病、躁うつ病を含む。)
10. 統合失調症
11. 小児科
12. 産科
13. 外来
14. CPC レポート (項目12参照)
15. 外科症例レポート

②臨床研修管理委員会で承認を得たレクチャーへ2年間で30回以上出席

出欠確認方法

- ・火曜レクチャー、水曜レクチャー、その他臨床研修管理委員会表示のあるレクチャー
出欠は院内管理用 QR コード方式、もしくは出席簿にて行います。この登録・記載がない場合は出席となりません。
- ・必修講習である医療安全講習、感染管理講習、医療倫理講習
EPOC2 用 QR コードで出欠を取ります

③予防医療の研修

④社会復帰支援

⑤緩和ケア講習を受講し、また緩和ケアチーム回診に参加する

⑥二次救命処置の講習を受講する

院内開催 (年2回) もしくは他院開催の JEMCC 講習
茨城県開催もしくはその他の ALS または ICLS 講習
学生時に取得済みの場合は受講証を提出することで免除となる
受講後受講証を秘書室に提出すること

⑦一次救命処置の講習にファシリテーターとして参加する

院内開催の BLS または院内急変トレーニングにファシリテーターとして参加する

⑧二年目で各種委員会やチームラウンドに研修医代表として参加する

2年目の内科ローテート時に医療安全委員会、研修管理委員会（臨床研修管理委員会）、感染管理委員会、緩和ケア委員会、RST、NSTに当番制で参加し、研修医の代表として意見を述べるができる

⑨インシデントレポートを1年間で10件以上を目安に作成する

医療安全講習やレジデントデー等において数枚の提出を義務とする。
提出枚数を確認し、足りない分は必ず提出するようにしてください。

⑩医学教育用シミュレーターを経験する

救急科ローテーション中にチーフレジデント及び救急専門医の指導の下に経験する。

⑪アドバンス・ケア・プランニング講習を受講する

⑫CPCへの出席参加

CPC（マクロ、死亡症例検討会を含む）に原則出席する。欠席の場合はZoomによる出席もしくは録画を視聴する。

CPCレポートを提出する（項目1-④参照）

記載内容

患者氏名、年齢、性、患者ID、担当科名、剖検番号

臨床経過（検査データ・画像所見を含む）のまとめ

死亡時点での臨床上の疑問点・問題点

症例により：病理解剖所見（病変の肉眼所見と全臓器の組織所見）

病理解剖診断（剖検診断）

臨床上の疑問点・問題点に対する考察ならびに総括

⑬基本的臨床能力試験（JAMEP）の受験

1月中旬から下旬にかけて実施しますので、1年目、2年目ともに必ず受験をしてください。

⑭病院説明会へ2年間で2回以上出席

説明会計画に沿って参加を義務付けます。都合の悪い場合は交代をして秘書室に報告してください。

⑮各評価

・研修分野ごとの評価 主に指導医・上級医から評価を受け、自己による評価も行います。

研修分野ごとに行います。研修終了後直ちにEPOC2へ入力してください

指導医の評価も行ってください。

・360度評価（360度フィードバック）

6月と12月に行います。周囲からの見られ方を知ることで、コミュニケーションエラーを防ぎ、チーム医療のリーダーとしての成長機会を得ることを目的としています。

評価者は指導医、上級医、自身を含む研修医、指導者（看護師、検査技師、薬剤師、リハ技師、放射線技師、医療クラーク）、事務担当等です。

研修管理委員長、正副プログラム責任者または研修管理委員会委員より面談によるフィードバックを受けます。

⑩臨床医として適性に、以下のような問題がないこと

- ・安心、安全な医療の提供ができない場合（迷惑行為、遅刻、チーム医療を乱す、等を含む）
- ・法令、規則が遵守できない場合
- ・360度フィードバックにおいて著しく評価が低く、指導を重ねても改善が見られない

2年目1月の研修管理委員会において、①～⑩の達成状況をみて修了判定予備会議を行います。修了判定の見込みを通知いたしますので不足がありましたら必ず補うようにして下さい。その後、3月上旬の修了判定本会議で修了の最終決定いたします。それまでに条件未達の場合は修了判定本会議において状況説明を求める場合があります。本会議で修了が認められましたら、3月中旬の臨床研修修了式にて修了証をお渡しいたします。

その他

【レジデントデー】

達成に向けて、3カ月に1回程度レジデントデーを設けますので必ず出席し、自分の進捗状況の確認や研修の成果報告、研修の改善に関する意見提出などを行ってください。また、レジデントデーでは研修の評価をフィードバックします。

【面談フォーム】

研修医の将来の希望や、キャリアのアドバイス、その他相談事を受け入れる体制があります。研修医室にあるQRコードから研修事務担当へ希望する指導医・上級医の名前または職位、性別等、相談内容を簡単に記載して送信してください。相談の中身については秘密保持事項と致します。

【専門研修について】

当院の総合内科プログラムについて、1年目の3月頃に説明会を行います。当院の総合内科プログラムへの進むことを検討される場合は臨床研修事務担当へ日程調整などご相談ください。

【医師免許証について】

医籍登録はがきを庶務課に提出してください。その後医師免許証が発行されたらその写を庶務課まで必ず提出してください。

【文献検索について】

UP TO DATE / 医中誌 / MEDLINE / PubMed

【各種マニュアル】

COSMOS に掲示されています

【休暇取得について】

当院のジュニア・シニアレジデントには夏季休暇として平日5日間が付与される。取得期間は夏季に限らず、通年を通して取得することができる。但し、1ヶ月の研修期間での診療科では取得せず、1ヶ月

より多い研修期間での診療科で取得すること。

あらかじめ取得する期間を決定し、期日までに申請用紙にて医局秘書へ申請をすること。外来当番や外来予約、当直は各自で確認し、責任をもって調整を行うこと。取得期間を決定した後に期間を変更する場合は、所属長の承認を得たうえで申請用紙を提出すること。

当院オリジナル初期研修医2年目については1か月研修期間の科でリフレッシュ休暇（夏季休暇）の取得を可能とする。その場合は研修内容及び勤務状況を鑑み分割で取得することを推奨する。

1. 総診以外で取得する場合はリフレッシュ申請用紙を当該ローテーション科の長の許可印を得て取得する。この場合、取得する初日より2か月前の月末までに科長の許可印を得ること。

院外での取得を希望する場合はプログラム責任者（小林先生）に相談すること。

（例）7月30日～8月2日に取得希望 →5月31日までにリフレッシュ申請用紙に科長捺印を完了させること

2. 総診ローテーション時に取得する場合は取りまとめるチーフレジデントの指示に従う。

3. シミュレーションルームの利用の手引き

シミュレーションルーム利用の手引き

利用可能な者 (1) 当院職員
(2) 当院実習中の学生
(3) その他認められた者

2
日
前
ま
で

事前手続きが必要な者
・物品を持出す(1)、(2)に該当する者
・単独で利用する(3)に該当する者

シミュレーションルーム
利用・物品借用申請書
に記入提出

支
援
室
研
修
研
究

臨床研修管理委員会

承 認
利用予定簿に記載

利
用
日

利用登録 破損状況を必ず記載すること

施錠の確認

機材に不具合や故障があった場合、「不具合・故障連絡用紙」に記入し、秘書室経由
臨床研修管理委員会に提出してください

シミュレーションルーム利用登録 QR コード



番号	項目名				
受持患者年齢	歳	性別			
受持期間	自	20**/**/**	受持期間	至	20**/**/**
入院日	20**/**/**		退院日	20**/**/**	
転帰： <input type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 軽快 <input type="checkbox"/> 不変					
<input type="checkbox"/> 転科：手術あり <input type="checkbox"/> 転科：手術なし <input type="checkbox"/> 転科：手術あり（外科紹介症例）					
<input type="checkbox"/> 死亡：剖検あり <input type="checkbox"/> 死亡：剖検なし <input type="checkbox"/> 死亡：剖検あり（剖検症例）					
フォローアップ： <input type="checkbox"/> 外来で <input type="checkbox"/> 他医へ依頼 <input type="checkbox"/> 転院					

確定診断名

#1(主病名)

#2(副病名 1)

#3(副病名 2)

#4(その他の副病名)

【主訴】

【既往歴】

【社会生活歴】

【家族歴】

【病歴】

【主な入院時現症】

【主要な検査所見】

【プロブレムリスト】

#1.

#2.

#3.

#4.

【入院後経過と考察】

#1.

#2.

#3.

#4.

【退院時処方】

【総合考察】

総合病院水戸協同病院

研修医： 内科太郎

指導医：
